

5つの重点課題と目標（指標）

第3次食育推進計画の総合的な目標

市民一人ひとりが食育活動に取り組むとともに、食に関する様々な関係者が多様に連携・協働し食育を推進することを目指します。

推進に当たっての目標（指標）

- 1 食育に関心を持っている市民を増やす（市民の割合）
- 9 食育の推進に関わるボランティアの数を増やす（活動している市民数）

重点課題1

健康寿命の延伸につながる食育の推進

栄養の偏りや不規則な食生活などに起因した肥満・生活習慣病の増加、高齢化社会に向けた高齢者の低栄養予防など本市の抱える健康上の課題改善に向け、ライフステージに応じた間断ない食育を推進する。

推進に当たっての目標（指標）

- 4 朝食を欠食する市民を減らす（市民の割合）
- 6 栄養バランスに配慮した食生活を実践する市民を増やす（市民の割合）
- 7 生活習慣病の予防や改善のために、ふだんから適正体重の維持や減塩等に気を付けた食生活を実践する市民を増やす
（市民の割合）
（適正体重と判定される市民の割合）
（いきいき iwaki 食育・健康応援店の登録数）
（外食や食品を購入する時に、栄養成分表示を参考にする市民の割合）
- 8 ゆっくりよく噛んで食べる市民を増やす（市民の割合）
- 13 食品の安全性について基礎的な知識を持ち、自ら判断する市民を増やす（市民の割合）

重点課題2

子育て世代を中心とした食育の推進

子育て世代は次世代に向けての食育だけでなく、自身の生活習慣病予防や将来的な健康寿命延伸といった生涯にわたる食育の中心的世代ととらえ、子育て世代を柱とした食育を推進する。

推進に当たっての目標（指標）

- 4 朝食を欠食する市民を減らす（市民の割合：学童期、思春期、青年期）
- 6 栄養バランスに配慮した食生活を実践する市民を増やす（子育て世代の割合）
- 7 生活習慣病の予防や改善のために、ふだんから適正体重の維持や減塩等に気を付けた食生活を実践する市民を増やす
（適正体重と判定される市民の割合）

(いきいき iwaki 食育・健康応援店の登録数)

12 地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法等を継承し、伝えている市民を増やす
(子育て世代の割合)

13 食品の安全性について基礎的な知識を持ち、自ら判断する市民を増やす (子育て世代の割合)

重点課題 3

多様なライフスタイルに対応した食育の推進

様々な家族の状況や生活の多様化に対応し、こどもや高齢者を含む全ての市民が健全で充実した食生活を実現できるような食体験や共食の機会を提供していく。

推進に当たっての目標 (指標)

2 朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数を増やす (「共食」の回数)

3 地域等で共食したいと思う人が共食する割合を増やす (共食の割合)

7 生活習慣病の予防や改善のために、ふだんから適正体重の維持や減塩等に気を付けた食生活を実践する市民を増やす (いきいき iwaki 食育・健康応援店の登録数)

重点課題 4

食環境の整備を意識した食育の推進

食の安全、食品ロス、地産地消など食にかかわる様々な環境を整備し、市民が食育を実践しやすい食環境づくりをすすめる。

推進に当たっての目標 (指標)

5 学校給食に係る地場産物等を使用する割合を増やす (使用する割合)

7 生活習慣病の予防や改善のために、ふだんから適正体重の維持や減塩等に気を付けた食生活を実践する市民を増やす

(いきいき iwaki 食育・健康応援店の登録数)

(外食や食品を購入する時に、栄養成分表示を参考にしている市民の割合)

10 農林漁業体験を経験した市民を増やす (市民の割合)

11 食品ロス削減のために何らかの行動をしている市民を増やす (市民の割合)

13 食品の安全性について基礎的な知識を持ち、自ら判断する市民を増やす (市民の割合)

重点課題 5

地域の食文化の継承に向けた食育の推進

いわき市内の各地域で長年伝えられてきた郷土料理や行事食などに関心を持ち、日々の食生活の中に取り入れていくことを目指す。

推進に当たっての目標 (指標)

12 地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法等を継承し、伝えている市民を増やす

実践の環を広げよう